

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和8年3月2日(月)
第36号

祝 御卒業おめでとうございます 祝

3年生26名は、3月3日(火)に北九州中央高等学園を卒業し、巣立っていきます。振り返ってみますと、本校に入学し、あっという間の3年間だったのではないのでしょうか。1年生では、農耕班、事務・軽作業班、パン・接遇班、清掃・福祉班での作業学習を経験しました。1年後期からの「産業現場等における実習」では、職種や労働時間、障害福祉支援の有無などを考え、実習ができました。「産業現場等における実習」はもちろんのことですが、日々の授業や陸上カーニバル、全校集会などの行事の積み重ねを通して、最上級生として立派な姿を後輩たちに示し、頑張ってくれました。これも学校での支援指導に加え、ご家庭での協力があり、生徒自身が努力して頑張った成果だと思っています。保護者の皆様、これまでのご協力、本当にありがとうございました。学校としても、これからも卒業生を見守っていくとともに、それぞれの進路先での、さらなる飛躍を願っています。

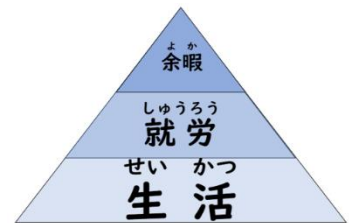


◆卒業後の生き方を考えて◆

卒業後の生活を考えたとき、働くことだけを頑張ればよいではありません。一日の生活を考えたとき、働くことに割いている時間は、長い人で8時間程度です。残りの16時間は、睡眠、食事、洗濯、掃除などの生活全般に関する「生きる力」が必要となります。「生きる力」を付けていくため



には、『自分でできることを増やす』『できない時は他の人に依頼ができる』ことが、社会の中でもとても大切になってきます。また、『自分でやれること』が増えることは、本人の喜びや満足感、自信にも繋がります。社会人としてスタートするまでの期間、少しでも家庭生活の中で、自分でできることを増やしてみましょう。近い将来、親元を離れて、一人で生活



しなければいけない時がくるかもしれません。そのときに準備を始めるのでは、生徒自身が何もできなくて困ります。本人なりの『自立』ができるように、早め

にいろいろなことを経験し、「生きる力」を付けることができるといいですね。頑張ってください。

「生きる力」とは…(働くことだけが全てではありません)

- ①生活⇒生活する力(食事の準備や片づけ 洗濯や掃除 金銭管理)
- ②就労⇒働く力(働いてお金を稼ぐ)
- ③余暇⇒楽しむ力(趣味をもつ)

